

議会報告会報告書

開催日時	平成26年1月28日(火)午後7時30分	終了:午後9時24分
開催場所	鶴来総合文化会館クレイン研修室	
参加人数	120人	
班構成	B班	安実 隆直、小川 義昭、村本 一則、吉田 郁夫、清水 芳文、藤田 政樹、西川 寿夫

主な質疑応答

(質問1) 北陸新幹線(仮称)白山駅が整備されれば、金沢駅から(仮称)白山駅まで約5分、次の小松駅も約5分で到着すると思う。15キロメートル間での新幹線駅は全国にあるのか。また、費用対効果について、人口減少時代を迎え、駅の周辺整備を含めて将来の状況をどのように想定しているのか。

(答 弁) 15キロメートル間での新幹線駅について、東北地方では請願駅として整備されたと聞いている。ただし、(仮称)白山駅を請願駅として整備すると、白山市が巨額な費用を拠出しなければならないため、現在、認可駅を目指しているものである。また、将来、白山駅がないと地域の発展に支障を来すということで、野々市市、能美市、川北町にも協力いただき、新駅の協議を行っているところである。

(仮称)白山駅を整備することによるメリットなどについては、調査をコンサルタント会社に依頼しており、平成25年度内に結果が出る。調査結果は、まず所管の常任委員会でしっかり議論していく。

(質問2) 新幹線開業白山ブランドPR戦略実行プランの説明の中で、全国発酵食品サミットが白山市で開催されるとのことだが、発酵のまちである鶴来で開催していただきたい。

(答 弁) 「発酵のまち 白山」として誘致に取り組んでいた、全国発酵食品サミットが平成27年に白山市で開催される。貴重な御意見として我々も検討していきたい。

(質問3) 鶴来支所が市民サービスセンターに移行することを協議した中で、移行にいたる経緯、審議内容をお聞きしたい。

(答 弁) 市から、シリーズ待ったなし!行財政改革という冊子が皆さんのお手元に届いていると思うが、以前から支所の統廃合について議論している。その中で鶴来支所においては、公民館の移転を含めて、いろいろと協議、意見があって現在の計画になったと議会に報告があった。

(質問4) 議会と市長は車の両輪と言われているが、二元代表制における議会とはどのようなものなのかお聞きしたい。

(答 弁) 市長は予算や条例等の議案を提出し、その議案を議会が議決して初めて市長は議案を執行できる。議会に与えられた権限はいろいろあるが、大きなものとしては議決権がある。また、議会と首長は二元代表制ということで、国会における議院内閣制とは違い、住民が直接選挙で選び、議会と首長は対等な機関となっている。

なお、本会議における表決において、賛否がわかれたものについては、議会だよりに掲載しており、議会として毅然とした態度で本会議に臨んでいる。

(質問5) 白山市は財政が厳しいということで、行財政改革を進めているが、合併直後からの大盤振る舞いのしわ寄せが末端の市民に及んでいるのではないか。

(答 弁) 旧鶴来町では、1市2町5村の中でも財政は厳しいほうではなかった。以前、赤字再建団体になった経験があり、二度とそういった経験をしないために、厳しく運営してきた。また、合併時から財政が厳しかった要因の一つとしては、スキー場における約11億円の累積赤字があり、その解消のために大変な思いをし、一度スキー場に関する案件で否決もした。また、合併後11年目から段階的に合併特例の交付税等が減額され、現在の試算では合併後16年目から約41億円が減額される見込みとなっている。合併当初から大幅な減額に対応するため、職員の削減や公共施設の統廃合、民営化を検討、実施しており、財政が厳しくなる一番の要因は、交付税等の大幅な減額であるということをお聞きいただきたい。

大盤振る舞いという御意見があったので、合併特例債について補足したい。合併当初、白山市では457億2,000万円の合併特例債を市の事業に充てるということで進めており、主に学校等の整備に充ててきた経緯がある。平成25年度末で約375億円、82%を執行する計画となっている。残りの約82億円については、今後6年間で、市の事業に充当していく予定である。ただ合併特例債については、そのうちの70%が交付税措置されるわけだが、残りの30%は皆さん方の税金等を使って、支払っていかねばならない。今後、交付税が大幅に減額になることを鑑みて、相当厳しい市の財政状況になると思う。そのような中、市内264の公共施設において、統廃合や管理の見直しが行われており、多くが白山ろく地域の施設となっているが、それぞれの地域住民の皆さんに御理解をいただきたいというのが執行部の考え方だ。

(質問6) 市の方向性はわかる。ただ、鶴来地域に住む者として感覚的なものがあるかもしれないが、鶴来地域に投資されたものについては、学校ぐらいではないか。市全体について公平性を保ち、財政をやってほしい。

(答 弁) 貴重な御意見として、執行部に伝える。

(質問7) 議員報酬の説明があったが、定数を削減した後、議員報酬を上げるのは手順が逆ではないか。また、若い人が議員になりたくないというのなら、年配の方が議員に出ず、年配の方の報酬を下げればいいのか。

(答 弁) 合併後2回目の選挙で、やっとのことで28名の定員に達し、結果は無競争ということになった。我々議会も議員環境、議員像について、真剣に議論をし、各種団体の皆さんとも協議させていただいた。その中で自分たちも身を削って議員定数の削減の決断をして、報酬の引き上げを行った。

(質問8) 小規模な保育所は民営化しないで、公立で運営をし、住みやすいまちにしていくという戦略もあってはいいのではないか。

(答 弁) 保育所等の法人化については、行財政改革の一環である。現在、老朽化が著しい、耐震基準に適合していない保育所等が増えており、その改修費用については、法人が改修する際は補助金が出る。ただ、法人化することについては、保護者はもちろん、地域の同意が必要であり、それぞれの地域の中で十分、協議した中で進めることになったものである。なお、今後も公立で運営していく保育所等もあり、保育所等の運営については、議会としてしっかり監視していきたいと思う。

(質問9) 北陸新幹線(仮称)白山駅は、将来のまちづくりを考えた場合、必ず必要であり、北陸新幹線金沢開業を見据え、旧加賀一の宮駅舎の周辺整備も必要である。また、道の駅しらやまさんから表参道への誘導方法も考えればいくらでもあると思うが、そういったことも含めて、議員が何をしたいのかが見えてこない。また、整合性や均衡のとれた白山市にしてほしいが、市民が望んでいることが聞こえてこない。

(答 弁) 厳しい意見をいただいた。議会でも考えていき、執行部のほうにも提言していきたい。ただ、皆さん方も議員が一般質問している姿などに興味を持っていただき、議会の中を知っていただければ幸いに思う。

(質問10) 企業誘致について、現状どうなっているのか。

(答 弁) 現在、山島地区のグリーンパーク周辺で工業団地の造成を行っている。その1街区において、株式会社石川コンピュータ・センターと契約が成立しており、今後も優良企業の誘致に取り組むこととしている。また、旭工業団地では、医療機器の精密機器メーカーの日機装株式会社が進出予定と聞いている。

(質問11) 加賀産業道路と鶴来美川インター線の交通の要所に、道の駅形式の農林水産物の直売所を設置し、市内全域の特産物を取り扱い、白山市の魅力を全国に発信してほしい。

(答 弁) 貴重な意見として、執行部にも伝えたい。

備 考	
-----	--